

平成 28 年度愛知県公立高等学校校長会からの要望への回答

一般社団法人愛知県専修学校各種学校連合会

1 推薦入試について

書類選考のみの選抜ではなく、面接、作文（小論文）等も実施するなど選考方法の充実を引き続きお願いしたい。

(回答)

この件につきましては、あらゆる機会を通じて会員校に周知いたしております。面接・小論文等の選考を行うように引き続き周知いたします。

2 AO入試について

- (1) 貴連合会作成の「AO入試に関する自主運用基準」に沿って、選抜方法が願書を出願するだけなど簡便になりすぎないことや可能な限り選抜基準を明確にすることに引き続きご尽力いただきたい。
- (2) AOのエントリーについて、高校側では、「AOにエントリーする際は学校に申し出る」よう、生徒に指導しているところであるが、エントリー状況を確実に把握するために、出願時点での情報がいただけるよう貴連合会加盟校への働きかけを引き続きお願いしたい。
- (3) 合格発表の時期を、できるだけ10月1日以降にさせていただくよう引き続きお願いしたい。

(回答)

「AO入試自主運用基準（改定3版）」（以下「自主運用基準」）を愛専各として取りまとめ、愛知県公立高等学校校長会進学指導部会及び、愛知県高等学校進路指導研究協議会よりご承諾いただいた次第です。自主運用基準では、「10月1日以降合否結果の通知」としてあります。

愛専各として、会員校には機会あるごとに、自主運用基準を順守するよう周知しています。引き続き会員校には自主運用基準の厳格な順守の徹底を図りたいと思います。もし、抵触する会員校がありましたら、愛専各事務局までご連絡ください。愛専各として事実を調査し、違反行為が判明した場合は厳格に対処いたします。

愛専各として高等学校に対して自主運用基準の理解をいただくよう努力しますが、引き続き自主運用基準の周知を願えば幸いです。今後も、より良いAO入学制度を模索し、高等学校側とAO入学に関して共通の認識を保てるように努力したいと思います。

AO出願時点での情報を高校側に提供する件につきましては、このようなご要望があったことを引き続き会員校に周知いたします。

3 一般選抜入試について

- (1) 一般入試定員枠を確保する努力を引き続きお願いしたい。
- (2) 専門学校が、職業教育の観点から本人の意欲、適性を見る面接重視になることは理解できるが、可能な範囲で適性試験や高校の基礎的な学習内容を問う学科試験の実施に向けて貴連合会加盟校への働きかけをお願いしたい。

(回答)

このような要望があったことを会員校に周知いたします。一般選抜入試において適性試験や高校の基礎的な学習内容を問う学科試験の実施については、各学校の判断とさせていただきます。

4 学校案内について

- (1) 学校案内等のパンフレット類で単年度ごとの資格取得の状況（取得率）や、卒業後の進路、就職先企業、教育課程（カリキュラム）などが分かる資料の提供について、引き続き検討をお願いしたい。

(回答)
平成 26 年度より、「職業実践専門課程」制度が始まり、全国で 673 校、2,042 学科が「職業実践専門課程」として認可されており、今後増加することが見込まれます。 「職業実践専門課程」認可学科は、ホームページ等にて、カリキュラム、教職員組織のほか、学校関係者評価の内容、在学生や退学者の人数等の情報の公開が義務付けられております。 「職業実践専門課程」以外の学科にあっても、文部科学省は「専修学校における学校評価ガイドライン」を策定し、学校評価や情報公開の標準化を図っています。 ますます、専門学校における情報公開は重要となります。愛専各として文部科学省、愛知県の施策に基づき各会員校の学校評価等の情報公開を積極的に推進していく所存です。

- (2) 学校案内等のパンフレット類及び募集要項を高校に持参又は郵送される際には、部数を最小限にしていただき、必要に応じて高校から追加請求できるようにしていただきたい。

(回答)
学校案内等の送付については、様々な機会において高等学校側の要望として会員校に周知いたしています。多くの会員校が順守していると認識していますが、再度徹底いたします。

- (3) 学校案内等のパンフレット類で特別講義の講師等の紹介がある場合には、常勤・非常勤の区別を明確に記載していただきたい。

(回答)
愛専各では、平成 24 年 4 月 1 日付で「広告に関する自主規制」を作成し、①適正な情報の提供②誤解を招く表現等の禁止③入学意欲を不当にそそる表現の禁止を唱っております。このようなご要望があったことを会員校に強く周知いたします。

5 その他

- (1) 学校案内、説明会の参加案内及び出欠確認の郵便などは、進路指導主事宛としていただき、可否情報などの通知は、校長宛「親展」文書で送付していただくよう引き続き周知をお願いしたい。

(回答)
この件につきましても、各会員校に周知しております。会員校に再度周知徹底いたします。

- (2) オープンキャンパスにおいて、生徒に早期の願書提出を強引に促すような勧誘を受けたとの印象を与えないように、引き続き配慮をお願いしたい。

(回答)
愛専各として、会員校にはオープンキャンパス等では学校の授業内容や就職状況等を正しく説明し、強引と思われる学生勧誘はしないよう周知いたしております。引き続き周知徹底いたします。

- (3) 合格決定後、本人の進学後の学習に備えるため、できる限り課題（レポート作成、読書等）を課すなど引き続き配慮をお願いしたい。

(回答)
AO入学では継続的課題を課すことを自主運用基準でうたっています。継続的課題の充実を再度徹底するように会員校に周知いたします。 推薦入学や一般入学においても、合格者に課題を与えて事前学習を推奨する会員校もあります。愛専各として、各会員校に義務付けることはできませんが、このようなご要望があったことを会員校に周知いたします。

- (4) 経済的な理由で就学が困難な生徒に対する各学校独自の奨学金制度や入学金・授業料等の減免制度の一層の拡充と周知を引き続きお願いしたい。

(回答)

平成25年より専門学校1年制課程への独立行政法人日本学生支援機構の奨学金受給が認められました。私どもの要望が実現した一例です。文部科学省では、専修学校進学者に対しても大学と同様の経済的支援を行うことを積極的に検討いたしております。

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金は、高校在学中の予約採用制度が一般化しておりますが、専門学校卒業後の返済義務意識が希薄な方もいらっしゃいます。奨学金は返済義務があることを引き続き予約採用者に徹底いただければ幸いです。

会員校では、奨学金や学費減免について制度化している学校が多くなっております。専門学校案内誌にも各校の奨学金制度の欄が設けられております。各校の具体的な制度につきましては、専門学校案内誌をご確認していただき、不明な点は各校にお問い合わせください。

- (5) 社会人の受験者が増加している中、合格者の決定にあたり高校生が不利にならないよう適切な配慮をお願いしたい。

- (6) 選抜の面接の実施にあたっては、受験生が平常な状態で面接が受けられるよう配慮いただくとともに、質問の項目や内容についても公正なものとなるよう、一層の配慮をお願いしたい。

(回答)

このようなご要望があったことを再度会員校に周知いたします。